



三菱UFJ証券ホールディングス

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社

2022年10月

- ・ 連結決算ハイライト P 2
- ・ 業績の推移 P 3
- ・ 連結決算サマリー P 4
- ・ 業務別概要 P 7

Appendix

- ・ 連結業績推移 P 8
- ・ 連結貸借対照表の状況 P 9
- ・ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)の状況 P 10
- ・ auカブコム証券・海外現地法人の状況 P 13
- ・ 【ご参考】国内証券会社の状況 P 14
- ・ 財務基盤関連指標(格付・自己資本規制比率) P 15

注)本資料掲載情報は、本頁以降、特段の追記がなければ表示単位未満は切捨て記載しております。
また、海外拠点の決算日は連結決算日と3ヶ月異なるため、累計業績推移は1～6月、四半期業績推移は4～6月の実績となります。

累計業績推移

- 財務ベース業績は、純営業収益 1,639億円(前年同期比+20%)、経常損益 345億円(同+185%)、親会社株主に帰属する当期純損益 187億円
MUSAを含む実質ベースでは、純営業収益 1,977億円(同+14%)、経常損益 356億円(同+61%)、親会社株主に帰属する当期純損益 196億円(同+221%)
前年度第1四半期に計上した米国顧客との取引に起因した損失(約△292億円)が剥落し増収増益も、当該影響を除けば財務ベース・実質ベースとも減収減益
- 国内拠点は、グローバルマーケット業務が好調も、発行市場規模縮小を受けてインベストメントバンキング業務が苦戦し、減収減益
- 海外拠点は、米国顧客との取引に起因した損失が剥落し大幅増収も、キャピタルマーケット業務、フロープロダクツ業務を中心に苦戦

(単位: 億円)	財務ベース			MUSAを含む実質ベース(※)		
	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
純営業収益	1,359	1,639	+20%	1,731	1,977	+14%
販売費・一般管理費	1,366	1,440	+5%	1,635	1,761	+7%
経常損益	121	345	+185%	220	356	+61%
親会社株主に帰属する当期純損益	△14	187	—	61	196	+221%

四半期業績推移

- 四半期業績は、財務ベース・実質ベースとも前四半期比増収増益
- 国内拠点は、グローバルマーケット業務が引き続き堅調に推移、インベストメントバンキング業務も復調
- 海外拠点は、フロー・プロダクツ業務が前四半期の不調から回復

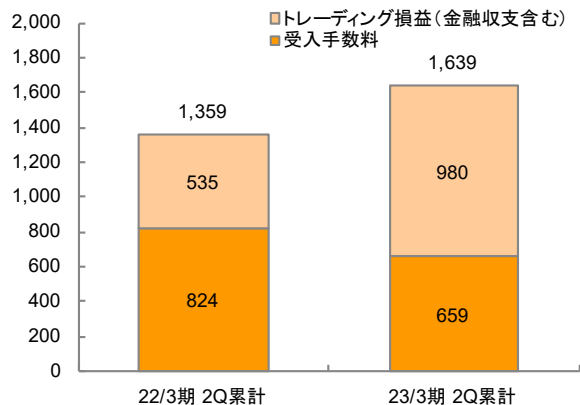
(単位: 億円)	財務ベース			MUSAを含む実質ベース(※)		
	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	前四半期比 増減率	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	前四半期比 増減率
純営業収益	798	841	+5%	939	1,037	+10%
販売費・一般管理費	733	707	△3%	884	876	△0%
経常損益	124	221	+77%	112	243	+117%
親会社株主に帰属する当期純損益	85	102	+20%	75	120	+59%

※ MUFGセキュリティーズアメリカ(MUSA)は、2017年3月期3Qより米国ブルデンシャル規制対応のため当社の連結対象外となりましたが、社内収益管理は引き続き同社を含めて行っているため、合算ベースを記載しております。

累計業績推移

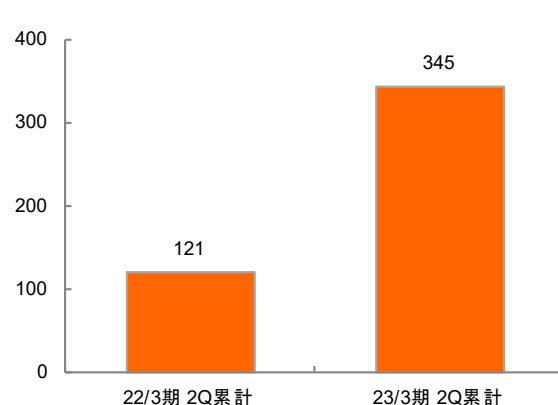
純営業収益

(単位:億円)



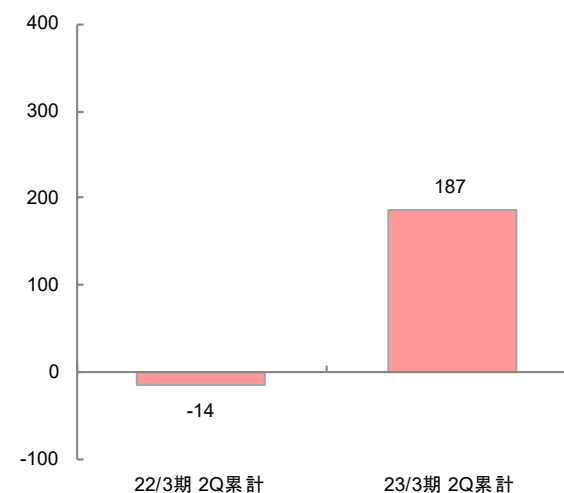
経常損益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

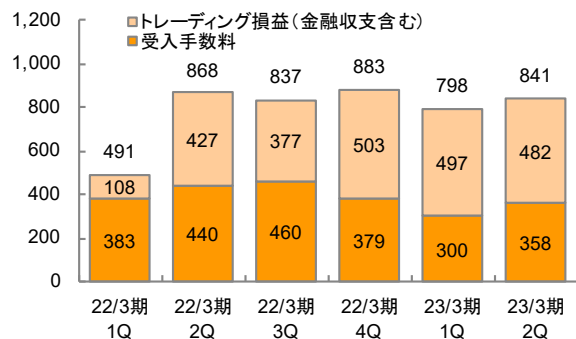
(単位:億円)



四半期業績推移

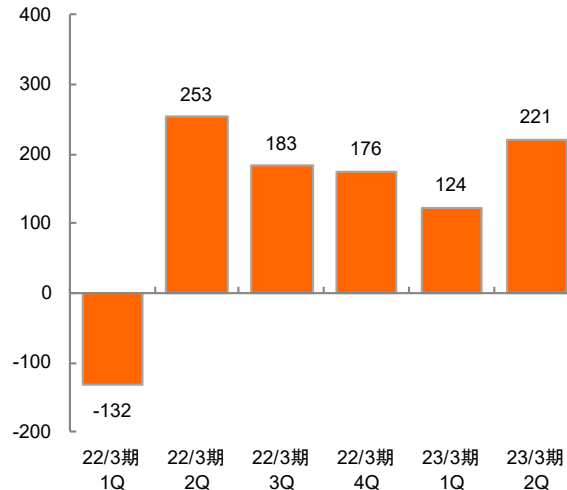
純営業収益

(単位:億円)



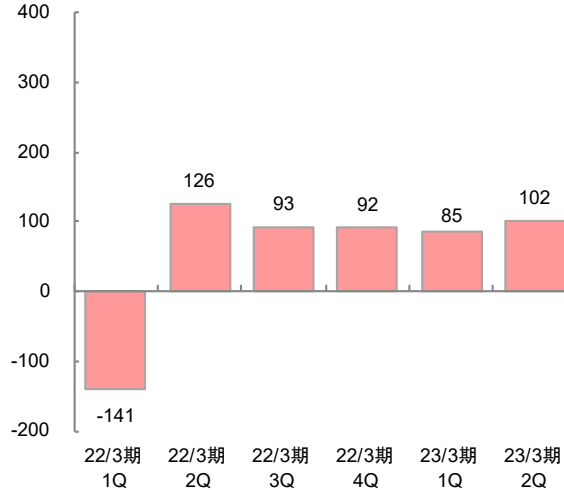
経常損益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

(単位:億円)



受入手数料

第2四半期累計実績：659億円

■ 前年同期比 △164億円 (△19%)

- 委託手数料：軟調な株式相場を背景に減収
- 引受・売出手数料：大型劣後債・外債案件獲得も、発行市場規模縮小の影響が大きく減収
- 募集・売出手数料：相場要因もあり株式投信販売額が減少
- その他受入手数料(受益証券)：株式投信の着実な積上げにより、資産残高が拡大し増収
- その他受入手数料(その他)：M&A関連収益が減少

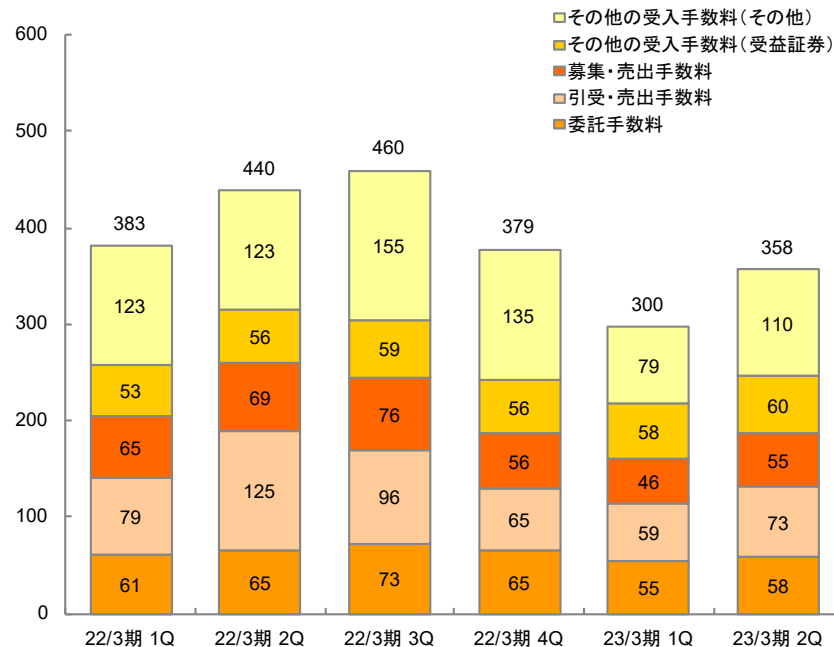
第2四半期実績：358億円

■ 前四半期比 +57億円 (+19%)

- 引受・売出手数料、M&A関連収益中心に全科目増収

推移

(単位：億円)



(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比 増減率	2023年3月期	2023年3月期	前四半期比 増減率
	2Q累計	2Q累計		1Q	2Q	
委託手数料	127	114	△10%	55	58	+4%
引受・売出手数料	205	132	△35%	59	73	+22%
募集・売出手数料	135	102	△24%	46	55	+18%
その他の受入手数料(受益証券)	109	119	+9%	58	60	+3%
その他の受入手数料(その他)	246	190	△22%	79	110	+39%
合計	824	659	△19%	300	358	+19%

トレーディング損益・金融収支

第2四半期累計実績：980億円

■ 前年同期比 +444億円 (+82%)

- エクイティ業務
 - 国内拠点：軟調な株式相場の影響から、外国株式のフローが低調で減収
 - 海外拠点：米国顧客との取引事案に起因する損失が剥落し増収
- フィクストインカム業務
 - 国内拠点：レート・デリバティブ・クレジットが好調で大幅増収。特にレートは金利上昇局面におけるポジション運営が奏功したほか、国債入札関連フローを取込み、クレジットは米金利上昇を踏まえ外債の顧客フローを捕捉したことが寄与
 - 海外拠点：レートやストラクチャードソリューションが健闘し増収

第2四半期実績：482億円

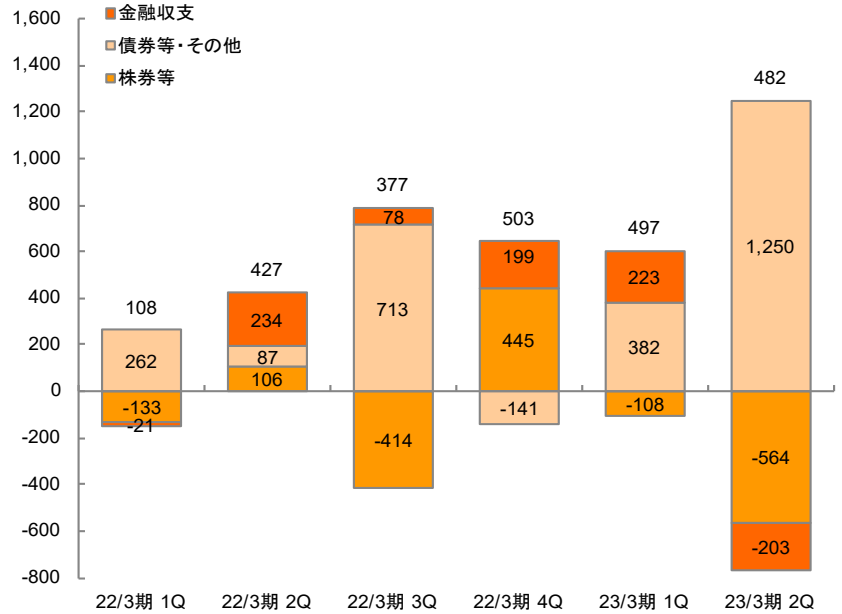
■ 前四半期比 △15億円 (△3%)

- エクイティ業務
 - 国内拠点・海外拠点とも苦戦継続も、前四半期比では海外が復調
- フィクストインカム業務
 - 国内拠点：レートが堅調に推移し、高収益継続
 - 海外拠点：MBSやクレジットの不調が回復

※財務ベースは株券等、債券等・その他、金融収支で、管理会計上の取り扱いと商品区分の差異あり

推移

(単位：億円)



(単位：億円)	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
株券等	△26	△672	—
債券等・その他	349	1,632	+366%
金融収支	212	20	△90%
合計	535	980	+82%

【ご参考】管理会計ベース(※)

エクイティ業務	23	179	+691%
フィクストインカム業務	347	491	+41%
合計	370	670	+81%

2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	前四半期比 増減率
△108	△564	—
382	1,250	+226%
223	△203	—
497	482	△3%

82	97	+18%
227	263	+16%
310	360	+16%

※MUMSSとMUSAを含む海外拠点の管理会計ベース計数を単純合算して記載しております。

販売費・一般管理費

第2四半期累計実績: 1,440億円

■ 前年同期比 +73億円 (+5%)

- 国内拠点: 固定費の抑制運営や収益連動性費用減で減少
- 海外拠点: 為替影響に加え、人件費はインフレ影響や前年度の退職給付費用減少からの反動もあり増加

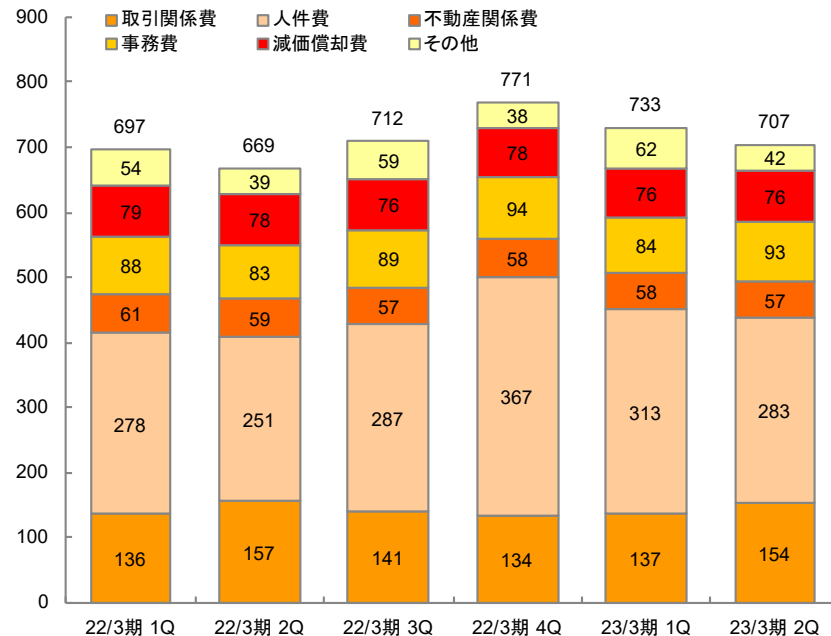
第2四半期実績: 707億円

■ 前四半期比 △25億円 (△3%)

- 前四半期に計上した受取配当に伴う租税公課が剥落し、その他が減少

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)

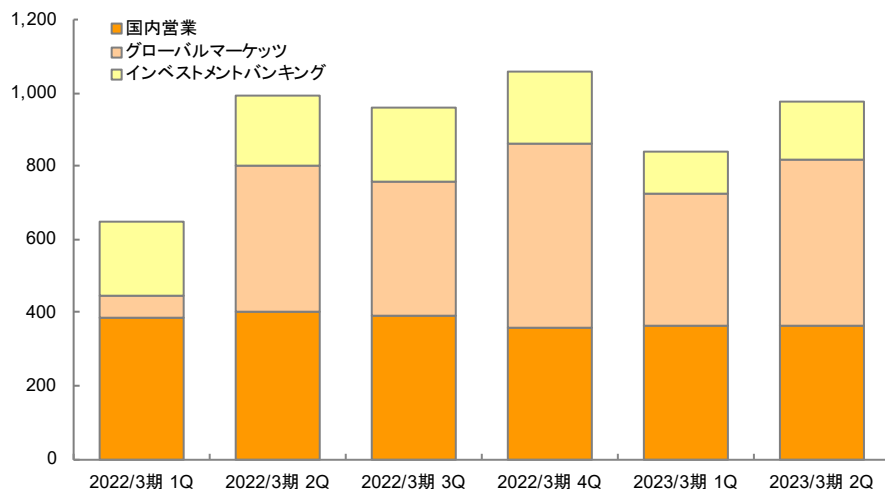
(単位: 億円)	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比 増減率	2023年3月期	2023年3月期	前四半期比 増減率
	2Q累計	2Q累計		1Q	2Q	
取引関係費	293	292	△0%	137	154	+12%
人件費	529	597	+12%	313	283	△9%
不動産関係費	120	116	△3%	58	57	△2%
事務費	171	177	+3%	84	93	+10%
減価償却費	158	152	△3%	76	76	+0%
その他	93	105	+12%	62	42	△33%
合計	1,366	1,440	+5%	733	707	△3%

業務別概要 (第2四半期実績)

- グローバルマーケットとインベストメントバンキングが前四半期比増収、国内営業も不透明な環境下で引き続き健闘
- 国内営業：不透明な相場環境が継続も、アドバイザリー型ビジネスモデルの浸透により、ストック資産は着実に積み上がり業績に寄与し、前四半期水準を維持
- グローバルマーケット：国内拠点・海外拠点とも増収。国内拠点はフィクストインカム業務が引き続き好調。ソリューション業務の案件収益化も寄与。海外拠点は第1四半期(1-3月)に苦戦したフロー・プロダクツ業務が回復
- インベストメントバンキング：海外拠点は米金利上昇による発行市場の低迷を背景に債券引受が苦戦したものの、国内拠点における債券引受や不動産の復調により、全体としては増収

推移

(単位:億円)



※MUSAを含む管理会計ベースで記載しております。

単位：百万円

累 計

	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計
営業収益	161,249	217,089
受入手数料	82,405	65,935
トレーディング損益	32,275	96,002
その他の営業収益	4	4
金融収益	46,563	55,146
金融費用	25,266	53,112
純営業収益	135,982	163,976
販売費・一般管理費	136,693	144,037
営業損益	△710	19,939
営業外収益	13,193	16,928
営業外費用	354	2,282
経常損益	12,128	34,585
特別利益	126	123
特別損失	419	526
法人税等	3,652	5,042
非支配株主に帰属する当期純損益	9,618	10,364
親会社株主に帰属する当期純損益	△1,434	18,775

四 半 期

2022年3月期				2023年3月期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
69,015	92,233	94,276	95,756	86,759	130,330
38,337	44,068	46,050	37,959	30,070	35,865
12,944	19,331	29,889	30,464	27,413	68,589
3	0	—	—	4	0
17,730	28,833	18,336	27,331	29,271	25,875
19,839	5,426	10,484	7,405	6,899	46,213
49,175	86,806	83,792	88,351	79,860	84,116
69,768	66,924	71,220	77,192	73,311	70,725
△20,592	19,881	12,572	11,158	6,548	13,390
7,765	5,427	6,090	7,221	7,046	9,881
402	△48	331	757	1,122	1,159
△13,229	25,357	18,331	17,622	12,472	22,112
—	126	—	5	0	123
38	380	940	50	520	5
△2,821	6,473	4,316	2,616	33	5,008
3,667	5,950	3,724	5,666	3,397	6,966
△14,114	12,680	9,350	9,294	8,520	10,254

単位：十億円

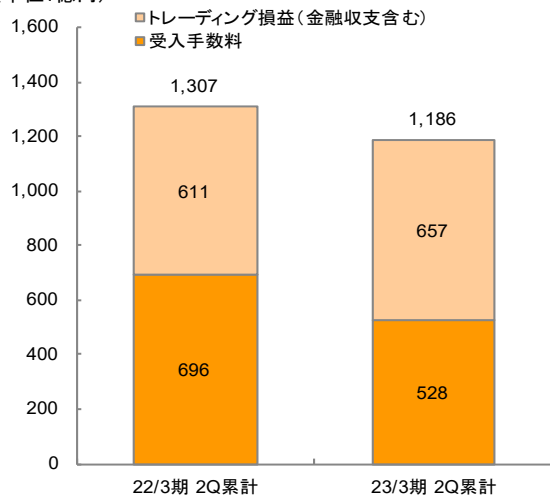
	2022年 3月末	2022年 9月末	増減額
資産の部			
流動資産	31,164	32,635	+1,471
現金・預金	2,186	2,122	△64
トレーディング商品	12,870	13,961	+1,090
有価証券担保貸付金	13,227	13,357	+129
その他	2,880	3,194	+314
固定資産	560	699	+138
有形固定資産	26	25	△0
無形固定資産	101	106	+5
投資その他の資産	432	566	+134
資産合計	31,724	33,335	+1,610

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減額
負債の部			
流動負債	28,835	30,456	+1,620
トレーディング商品	10,432	12,758	+2,326
有価証券担保借入金	10,702	9,586	△1,115
短期借入金	2,874	3,128	+254
その他	4,826	4,982	+155
固定負債	1,879	1,846	△33
社債	896	912	+15
長期借入金	964	916	△48
その他	18	18	+0
負債合計	30,720	32,307	+1,587
純資産の部			
株主資本	722	724	+1
その他の包括利益累計額	△1	21	+22
非支配株主持分	283	282	△1
純資産合計	1,004	1,027	+23
負債・純資産合計	31,724	33,335	+1,610

累計業績推移

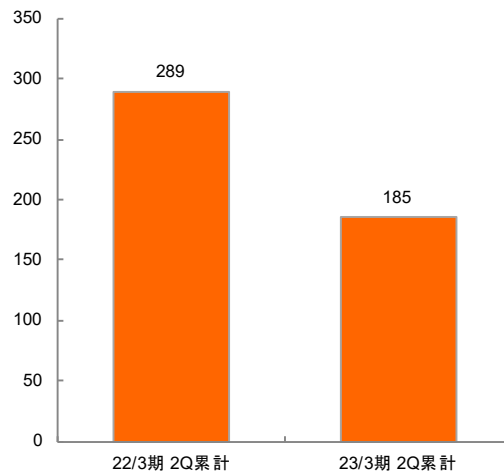
純営業収益

(単位:億円)



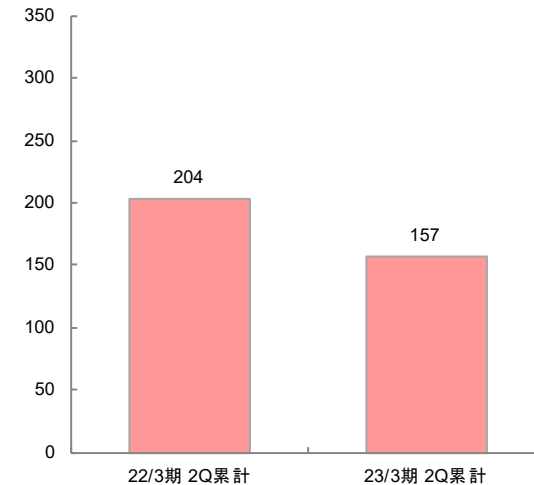
経常損益

(単位:億円)



当期純損益

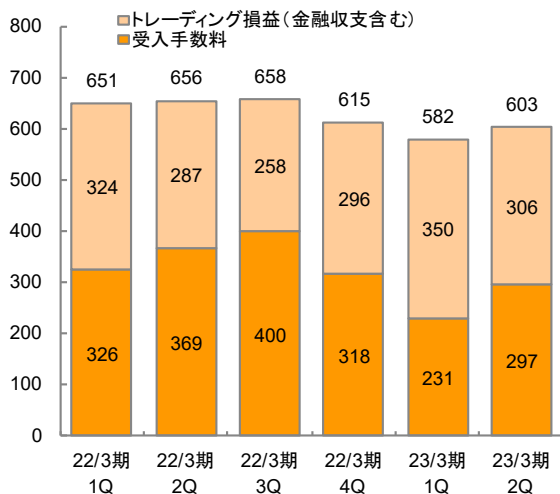
(単位:億円)



四半期業績推移

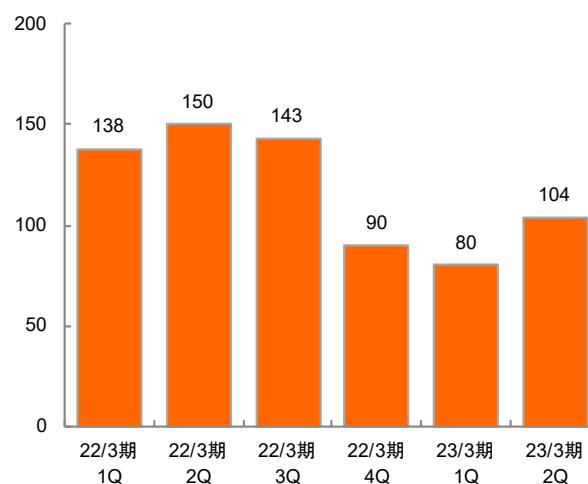
純営業収益

(単位:億円)



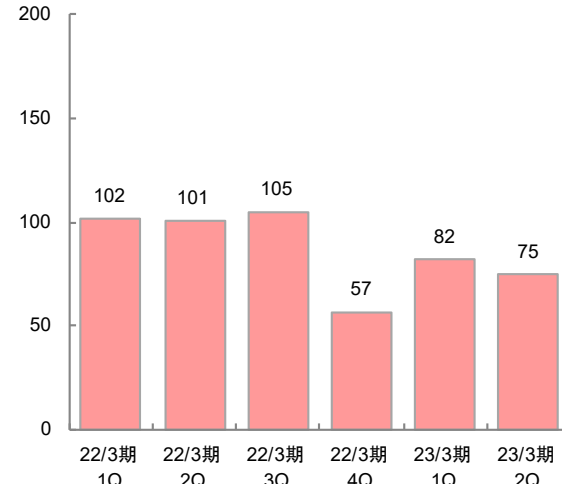
経常損益

(単位:億円)



当期純損益

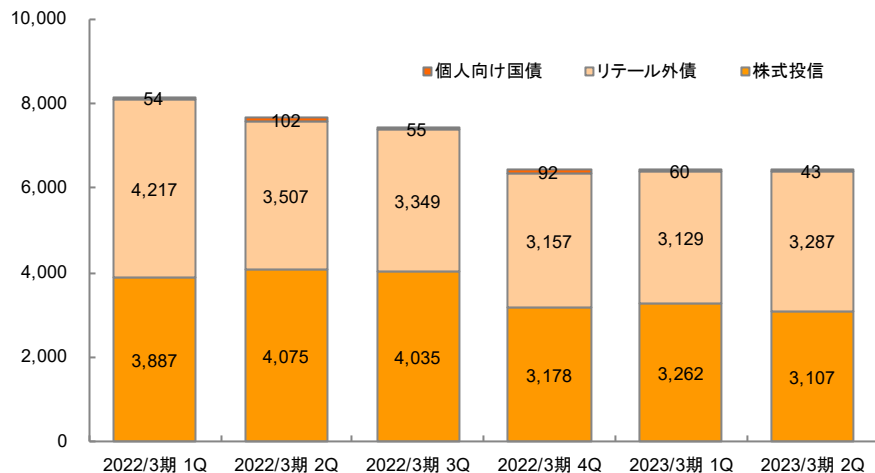
(単位:億円)



営業部門商品販売額

推移

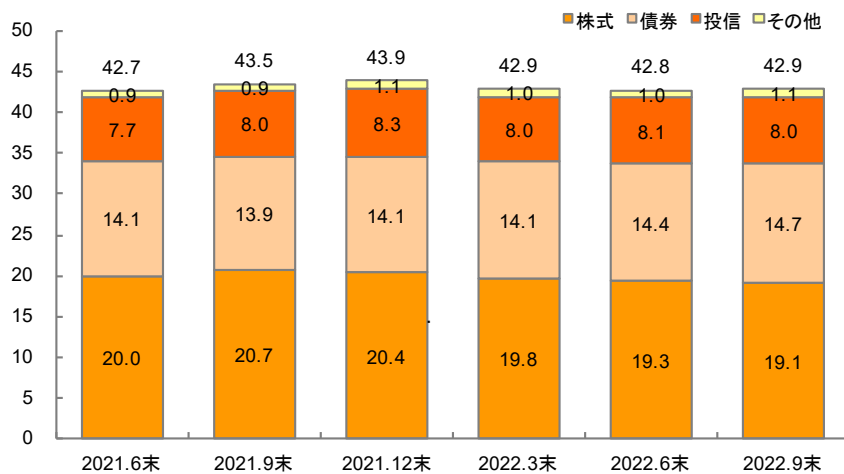
(単位:億円)



預かり資産推移

推移

(単位:兆円)



(四捨五入表示)

投資銀行業務 ～ リーグテーブル(2022年4月～2022年9月)

債券(国内債+外債)総合シェア※1

順位	証券会社	シェア (%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	23.5
2	みずほ証券	17.0
3	野村証券	16.9
4	大和証券	15.5
5	BofA証券	3.8
6	シティグループ証券	3.8
7	JPモルガン証券	3.8
8	ゴールドマン・サックス証券	3.1
9	パークレイズ証券	2.3
10	東海東京証券	1.7

国内外エクイティ総合シェア※2

順位	証券会社	シェア (%)
1	大和証券グループ本社	22.3
2	野村	20.7
3	みずほフィナンシャルグループ	15.1
4	三井住友フィナンシャルグループ	13.5
5	JPモルガン	10.8
6	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	9.8
7	SBIホールディングス	3.4
8	東海東京フィナンシャル・ホールディングス	2.0
9	いちよし証券	0.5
10	岡三証券グループ	0.5

M&Aアドバイザー(取引金額ベース)※3

順位	アドバイザー	取引金額 (十億円)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	2,219
2	三井住友フィナンシャルグループ	1,458
3	UBS	1,447
4	野村	1,435
5	BofAセキュリティーズ	1,259
6	ゴールドマン・サックス	700
7	大和証券グループ本社	614
8	Deloitte	584
9	みずほフィナンシャルグループ	572
10	プライスウォーターハウスクーパース	504

※1: 出所: 国内債はREFINITIV及び同社提供のDealWatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関債等(高速道路債を含む)、地方債等の国内債主幹事リーグテーブルを集計
外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFG証券作成

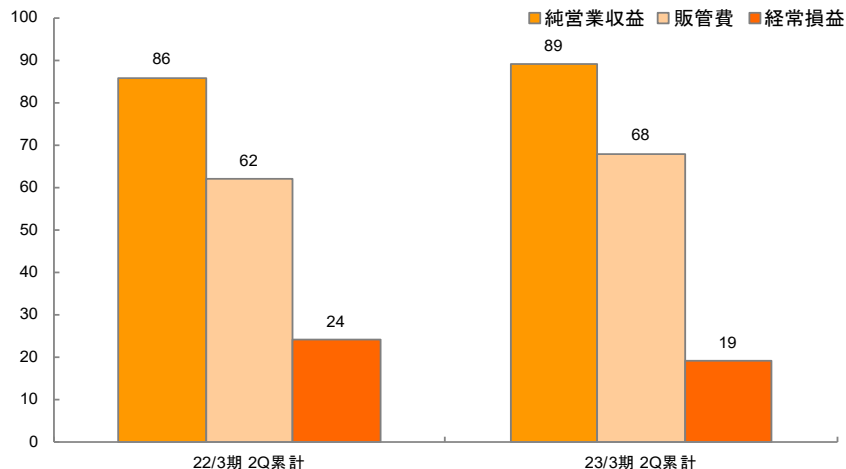
※2: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む

※3: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
日本企業が関わる公表案件(含、不動産取得案件)。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む

auカブコム証券 累計業績推移

推移

(単位:億円)

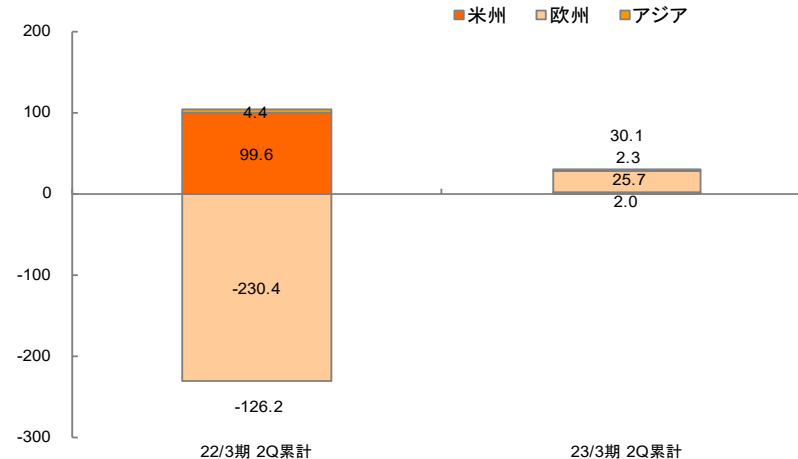


海外現地法人 累計業績推移

経常損益

(単位:億円)

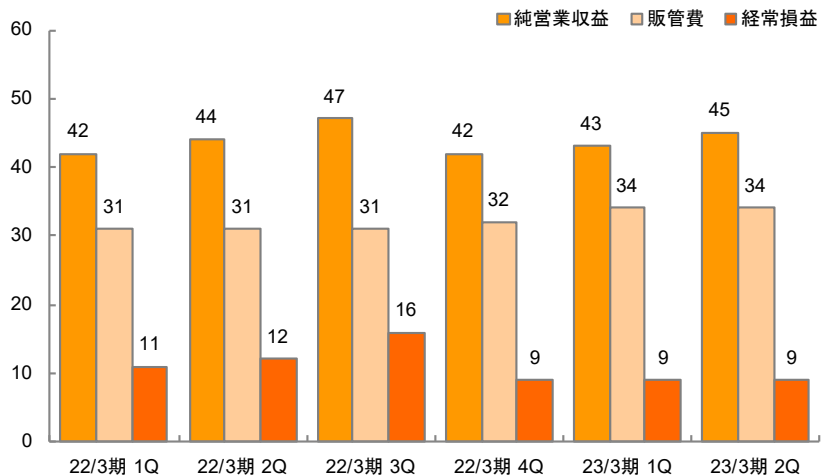
※ MUSAを含む実質ベースで記載しております。



auカブコム証券 四半期業績推移

推移

(単位:億円)

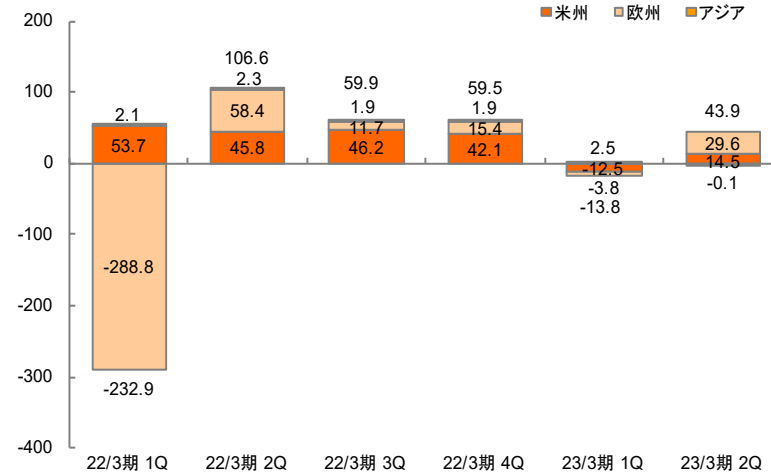


海外現地法人 四半期業績推移

経常損益

(単位:億円)

※ MUSAを含む実質ベースで記載しております。

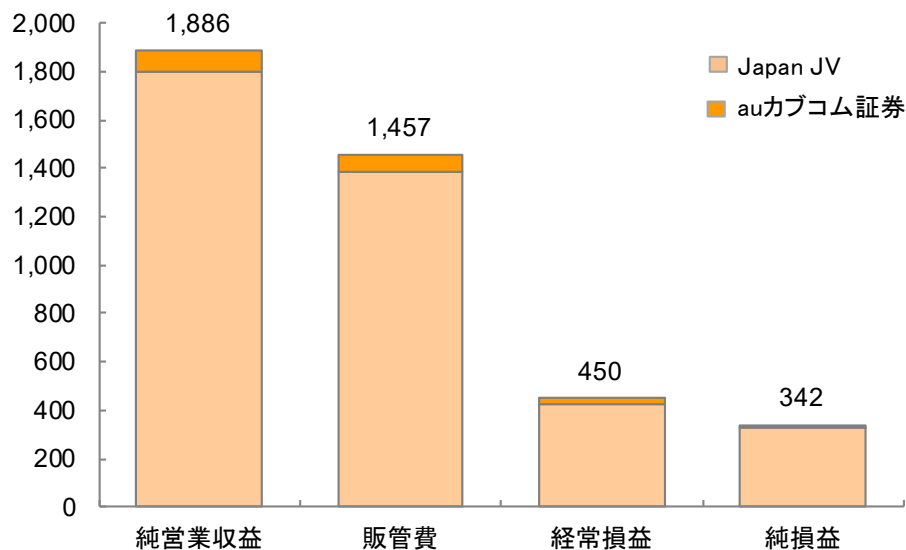


国内証券会社 業績

- 国内証券会社の純営業収益は、単純合算で1,800億円超を計上
これには、日本におけるモルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーの一つで、持分法適用関連会社であるモルガン・スタンレーMUFG証券（MSMS）の純営業収益も全額含まれている
- 『国内証券会社』は、モルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーである2社（Japan JV）とauカブコム証券の合計3社

2023/3期 2Q(累計)の業績

(単位:億円)



※ 単純合算ベースで記載しております。

国内証券会社単純合算 (単位:億円)	2023/3期 2Q(累計)
純営業収益	1,886
Japan JV	1,797
MUMSS	1,186
モルガン・スタンレーMUFG証券 (MSMS) *	610
auカブコム証券	89
販売費・一般管理費	1,457
Japan JV	1,388
MUMSS	1,015
MSMS	373
auカブコム証券	68
経常損益	450
Japan JV	430
MUMSS	185
MSMS	245
auカブコム証券	19
純損益	342
Japan JV	327
MUMSS	157
MSMS	169
auカブコム証券	14

* モルガン・スタンレーMUFG証券は、持分法適用関連会社です。

外部格付

	R&I	JCR	Moody's	S&P	Fitch
--	-----	-----	---------	-----	-------

三菱UFJ証券ホールディングス

長期格付	AA-	AA	A1	A-	-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-2	-

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

長期格付	AA-	AA	A1	A	A-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-1	F1

MUFG Securities EMEA plc

長期格付	AA- **	AA **	A1	A	-
短期格付	-	-	P-1	A-1	-

MUFG Securities (Canada), Ltd.

長期格付	-	-	-	A	A-
短期格付	-	-	-	A-1	F1

MUFG Securities (Europe) N.V.

長期格付	-	-	A1	A	-
------	---	---	----	---	---

*CP格付

**MTNプログラム格付（優先債）

自己資本関連指標

自己資本規制比率 MUMSS

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の当期の自己資本規制比率につきましては、下記URLに掲載しております。

https://www.sc.mufig.jp/company/finance/cp_ratio.html



三菱UFJ証券ホールディングス

本資料は、2022年9月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入または売却の勧誘または推奨を目的としたものではありません。本資料は、2022年10月28日現在のデータに基づき作成されており、本資料に含まれる財務情報等は、監査法人によるレビューの対象外です。本資料に掲載されている事実および見解は、本資料作成時点において当社が認識している事実および当該時点における当社の見解であり、これらの情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。その他、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。なお、本資料のいかなる部分についても、著作権その他一切の権利は当社に帰属しており、電子的方法を含め、いかなる方法または目的であれ、当社に無断で複製、配布、転送等を行うことが禁止されますので、この点をご了承の上、本資料をご覧ください。